

会 議 録

かわにし事業ディスカッション2014（第1回）

開催日時	平成26年8月17日（日） 午後2時40分から午後4時10分
開催場所	川西市役所 7階 大会議室
内容	小学校運営事業の質疑応答・討論
出席者	コーディネーター 清水 万由子
	メンバー （公募市民） 大塚 千恵子 岡田 忠純 小牧 満也 杉浦 一郎 藤本 美穂
	オブザーバー 石田行政経営室長
	市職員 森下総務調整室長 籾内教育総務課長
事務局	総合政策部 行政経営室 経営改革課 （内線：2110、2112）

会議経過

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>勉強会でおおまかに論点が出てきたことを整理したい。</p> <p>小学校から出るゴミの問題があった。ゴミ処理の制度が変わったことで産業廃棄物として処理しないといけない物が出てきている。費用がかさみ費用の見込みも立たない。全体としてはゴミを減らしていくにはどうしたらいいかということで教育的な面も含めて取り組み方を考えてほしいということだった。</p> <p>共通して納得してもらえるところとして、小学校から出るゴミの総量を減らすということではないかと思う。減らすための仕組みを考えお任せするという事よりも減らす仕組みを市全体として作ることが必要なのではないか。</p> <p>もう少し具体的な論点として、ごみは産業廃棄物と一般事業系に分類され、処分方法も費用も違う。これをきちんとする必要があるし、各小学校で発生量、見込み分を含めて把握・調査する必要があるのではないか。</p> <p>また、各小学校で温度差があり、減らすためには現状を知ることが必要になる。ここができるような仕組みとか、取り組みはないだろうか。ゴミを減らすというところに持っていくためにゴミにしない、物を大切に使う、再使用する。どうしても子どもが使うもののため、子どもが成長すると使わなくなるものがある。バザーをするというアイデアも出た。再使用するあるいは再使用できないような備品は分別してリサイクルもしくは適正処分する。</p> <p>この3つの事を通してゴミの総量を減らすことが必要になる。これをできれば環境学習として子ども達に授業する。あるいは地域との関わりも含めてやり方を考えていきたい。</p> <p>皆さんで、こういう手もあるとか、これについてはこうとか、もしあれば出していただきたい。</p>
メンバー	<p>まず、議論の前提としてゴミの総量を減らすという事であったが、きっかけが制度変更とかで不要なものが出てきてしまったということであったり、産業廃棄物の処理方法が変わったことであったりとか、制度に関わるものがきっかけで、ゴミそのものが問題とは違ったものが、事業自体で本質的なところではないかと思っている。そもそもその話になると、ゴミってなんなのかということになる。いらぬ物がゴミなのか、制度で義務付けされたものがゴミなのかということまで考えないといけなくなる。それによって対応策も変わってくるし、議論する内容も変わってくる。</p>
コーディネーター メンバー	<p>制度変更というのは机の仕様が変わったとかそういうこと。</p> <p>机を調整しないといけない物であるとか、我々消費者レベルでいうと例えば地デジになり、急にテレビが変わってしまったというような事も制度変更である。そもそもゴミの認識あるいは節約したところで制度が変わってしまってゴミになってしまうような問題がある。</p>
コーディネーター 市職員	<p>そこは不可抗力か。</p> <p>言われているとおりで、テレビは学校にもたくさんある。各教室に旧式のテレビが1台ずつ設置しており、今はどうしようもなく、学校に置いてある状況になっている。ビデオとか古いソフトを使うときには利用できるが、ほとんどDVDに変更しているので、利用も苦しい所がある。使えていたが、時代の流れと共に古くなって資料自体も使えなくなってしまうと結局もったいないが処分しないといけないというような状況になっている。物を大切に使うとかそういうことは大事であるが、不可抗力でゴミになってしまうというようなものも実際たくさんある。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	その辺りを教育に絡めていったらいいのではないかと。不都合というか、説明しにくい物がたくさん出てくるのではないかと思う。
コーディネーター	大人の事情か。
メンバー	そこはちょっとやむやにして、というのがいいのではないかと。結局、直面する問題だが、だったらこの理不尽というか環境的にいうと理に適っているので、そういう本質的なところから教えていくような取り組みのほうがいいのではないかと思う。ゴミというか廃棄物に対してはお金がかかる。お金がかかるならどうしましょうというところを皆で考えていくというような取り組みをしないといけない。
コーディネーター	備品は制度変更というのがかなりゴミを増やす本質的な原因となっている。備品以外にもペットボトルや置き傘の問題であるとか、生徒たちのライフスタイルというか生徒達由来のゴミもあるという話だったが。
メンバー	代表的なところでテレビと机が出ているが、テレビにしても日本国内では地デジになったため使えない。たとえば海外でリユースができないか、テレビを廃棄する手数料と海外に運送する時のコストと比べて運送料が低ければ、海外に差し上げるということもひとつの方法がある。机にしてもそう引き受けてくれる、もしくは要望されている国があるのかどうか。日本国内だけでなく地球規模で、川西市内の小学校だけでなく他の小学校も含めて、船一隻分でコストが大幅に変わらなければ海外で要求されているところがあれば非常に有意義な使い方になるのではないかと。
市職員	<p>ゴミとしてするとやはり産業廃棄物としてのコストがかかるので、その見合いをどうするか。また、引き受ける業者があるのかどうか。単にゴミとして処理するだけでなくどういうリユース、リサイクルの活用ができないかと、そうすると海外に寄与するということもあるかもしれない。</p> <p>勉強会で説明させていただいたが、特定家庭用機器として産業廃棄物とは別の予算としている。テレビ・冷蔵庫・クーラーというのは処分する時にリサイクル券を購入して処分してもらい、リユース等でその先に続いていく商品もあると思う。</p> <p>今のところお願いしているが、単独でやろうとするとやはり船で運ぶと、かなりコストが高くて大変になる。なかなか1市だけでは船輸送するほどまでの数はない。そういった声があれば出せるが、正規ルートを通っていないとまずい話になる。今、一番適法な処分の方法はリサイクル券を買い、各小学校の近所にある電気屋が単価契約で1台いくらかでということで処分をしていただくようなことをしている。今のところコストとしてはそれが一番低く抑えられている。</p>
コーディネーター	家電リサイクル法という、法律に基づいてやっていると思うがテレビ・冷蔵庫・パソコンといったものは一応リサイクルを中心とした出し方を行っている。
メンバー	一人暮らししている大学生の中には、ゲームができたらいいいという人もいるので、番組が見られないテレビとか冷蔵庫とかも国内で需要があると思う。送料は家電組合で取引している費用より高くなるか安くなるかわからないが、そういうところを探ってみるのもいいかもしれない。
コーディネーター	確かにこれは最終手段であり、その前段階でもう少し使える道がないかという考えが必要になる。
メンバー	単純に長く使うことが効果的だと思う。特に言いたいのはモチベーションが大事だと思う。そうなればある一定の保証された期間以上は壊れるかもしれないというリスクとの戦いになってくる。皆がそういう意識をもって使うということが重要かと思う。それが壊れた時にいくらかかるのかということをもっと最初からわかって使うということをしてほしい。ゴミの処理にはお金がかかることだと思っているので、海外に輸出したところで

発言者	発言内容等
コーディネーター 市職員	<p>そこで処分するのにまたお金がかかってしまう。そこも含めて理解して使うということも必要になる。</p> <p>余談だが、早く壊れるように使っているという揶揄する人もいるが、なかなか物を長く大切に使うという風潮に社会全体がなっていない事もあるかと思う。その中で、どう教育とからめてやっていくかという事になる。</p> <p>方向が複雑になってきているので、私の方で補足したい。確かに言われているとおり備品の管理、これができるであれば問題ない。どこの学校がどれだけ持っていて、どれぐらいで耐用年数が過ぎて、いつぐらいにゴミになるということが把握できていれば予算化もしやすいが、質問にあがっていたテレビや机椅子は把握でき管理できている備品であるから予算化できている。</p> <p>制度が変わったために苦しんでいるのが消耗品になる。鉛筆削りとかは学校に任せているので、いくつあるか分からない物がほとんどになる。当然、学校で備品台帳を作成してどの学校に何がいくつあるというのは把握している。それ以上に学校はいろんな物を持っており、地域の方などから子どもが使用していたが、使わなくなった物をもらうこともある。それは全く届けが出てこず、中古でもらっているため、すぐにゴミになってしまう。そういったものがどんどん出てくるので把握できずにいる。</p> <p>今年度は産業廃棄物処理を7月末に行ったが、1日前に業者が見積するためにどれぐらいの量になるか学校を訪問している。産業廃棄物の場合は処理場まで運ばないといけないためトラック何トン車を何台出すかということを出してもらったが、次の日に行ったらごみの量が倍ほど出ていた。</p> <p>今回、今年度初めての産業廃棄物の収集という事もあったが、昨日みたゴミの量ではないので倍のトラックを出さないといけなくなり業者も困るという状況になっている。悪気があってやっているわけではないが、そういったことで先生に周知徹底したい。それを教育総務課は管理部門で環境を整備しようとかそういうところで予算を使っているところなので、私達がやると校務員、事務員、教頭先生ぐらいにしかお願いができない。周知徹底に関してはこちらからお願いしているが、学校内で浸透しないので、ゴミはコストがかかるということ子どもに教育するという手段を使って、学校ぐるみでゴミを減らす等の取り組みができればと考える。</p> <p>ソフト面になるが生徒指導の担当部署と絡めて、事業を越えて子どもに教育を通して、教職員も含めてゴミについて考えてもらいたいという思いがある。そのようなことで千知恵を拝借したい。</p>
コーディネーター メンバー	<p>ゴミにするかという判断が微妙なものもかなり多くある。</p> <p>川西市はゴミを出すのにお金がかからない。他市は大きい物を出すと300円かかる。たぶん、お金がかかることを知らないで、両親も知らない環境で生活をしている。子ども達自身がゴミにお金がかかるという事がわかっていない。この環境学習としてというところで、ただお金がかかりますよと一方的に言うだけでは子ども達は理解できないと思う。</p> <p>たとえば、人生ゲームではないがゴミをノート10冊、鉛筆10本に見立てて、これはいくらになりますと空想のお金を使って、これだけのゴミを出したら月にどれくらいお金がかかるでしょうというゲーム感覚で授業を進める。その授業をするために先生はワークション勉強しないと子ども達に教えられない。一方的な話をするだけではない、ただビデオを見せて、テレビ100台あります、何万円です、と言われてもイメージが付きにくいと思う。もっと身近な物、ペットボトルや缶等で環境学習を取り入れていくのもひとつかと思う。</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>そんな教材開発であるとか教育プログラムの開発みたいな事も視野に入れているということではないか。</p>
市職員	<p>今後の生活に関わるような大事な話でそのように材料を提供して取り組めたらと思っている。</p>
メンバー	<p>せっかくお金が出てくるので、環境学習だけでなく算数で組み込むとかというのをもひとつではないか。</p>
メンバー	<p>環境学習はもちろんだが、経済の学習とか、どういうふうに物が流通してというところも含めて勉強できたら子ども達にとっても先生にとってもいいのではないかと思う。</p> <p>私自身もそうだが、特に日本は親からなかなかお金の事を聞かない。家によると思うがお金の話をすると日本ではきかないことというような言葉が昔からある。経済の勉強について日本は遅れ気味なところがあると思うので、数字というゲーム性を取り入れてやれば、このクラスは今日これだけ節約したという数字として競争があれば先生自身も自分のクラスを盛り上げたいと思う。何かそういう競争・ゲーム的なシステムができればより環境にも経済的にもいいのではないかと思う。</p>
コーディネーター	<p>子ども達に対しては環境だけでなく、算数・経済・暮らし全体を考えるとということで、何かうまくゲーム的にできればというアイデアがあった。先生たちが判断する部分と子ども達が学習をする部分と違うというか、先生たちにどう理解を深めてもらうかということもあると思うが、もちろん教育プログラムを考える、教える事で先生たちも理解を深めるという事もあると思う。学校の備品管理体制というか、その仕組みをどう作っていくかということもあると思う。</p>
メンバー	<p>備品管理について、消耗品はお金が動くので報告の書類が必要になると思う。項目の中に地域から譲り受けたものという項目を作ってしまうということは可能か。</p>
市職員	<p>市の規則では購入金額が1万円以上を備品として扱い1万円未満は消耗品ということで分けている。備品は届出をしてもらい台帳記入している。頂いた物についても寄附ということで備品として扱う部分については管理できている。ただ、最近はCDプレーヤーも9千円程度で売っているので、それを全部台帳に記入したら、学校の事務が煩雑になってくると思う。それこそこちらで把握できないゴミ、ポットにしてもコップひとつからしてもそれを全部つけるというのは難しいというのが正直なところになる。</p>
メンバー	<p>台帳については手書きかネット上なのか。</p>
市職員	<p>電子で行いアクセスというソフトに組み込んでやっている。それもやはり扱いが難しく四苦八苦しているところもある。やはり学校にお任せしないといけない、こちらが直接できるものでなく、学校の意識を上げてもらわないと、なかなか協力してもらえないところがある。職員が各学校にいるということであればいいが、県職員にお願いしている状況になる。動機づけなり意識づけができていないと、なんでそんなことしないといけないのかとなりしんどいところがある。ただ、システム化してしまうというふうにしてしまえば、やらないといけないと持っていける。ただ事務手続き上のことで、今度からこうするからお願いしますという一方的な事はづらい。</p>
メンバー	<p>以前コストが1キロ100円と聞いていたが、その備品台帳に載らないけど1キロ以上のものとかも出てくるということか。</p>
市職員	<p>先ほど話したようにCDプレーヤーなら9千円で買えるため台帳には載っていない。学校で消耗品費ということで購入している。そういうものが使えなくなったらゴミとして出るが、どのタイミングで出てくるかもわからないし、何個持っているかもわからないので把握できていない。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>地域によってはリサイクル代がかかるところもある。それと同じような購入のシステム上で1キロいくらと貯蓄していくシステムとかはできないものか。例えば機械ものなら5年補償をつけたらちょっと高くなったりすることもあるが高くなるから、やめという1万円超えないでしょう、というふうに考える方もいると思う。つまり、重さで既にゴミの処理料を事前に検討しておくというのはどうか。</p>
市職員	<p>それも結局学校にお任せすることになる。それは本当に事務的にはかなり煩雑になってくる。学校が1年間に購入するものは、かなりの量になり消耗品費だけで何百万と持っている。それを買うたびに何キロとつけるのは、学校として手間はかけたくないと思う。</p>
コーディネーター	<p>任せているというところと事務の煩雑ないろんな処理を学校がやらないといけないので、こちらからは言いにくい。</p>
メンバー	<p>物を買った時に台帳をつけるのは先生達がやっているの、ちゃんとやっているかという所まで管理できないと思う。物を買った時に必ずついてくる納品書を1カ月分まとめてでもいいから、学校の名前だけを書いて出してもらうことはできないか。市の処理は大変になるが、ある程度の数の把握にはつながるのではないか。</p>
市職員	<p>正直かなり拒否されるところだと思う。一昨年初めて産業廃棄物と言われたときにゴミの名称等の一覧表を作成してもらい、備考欄に大きさを書いてもらうようお願いした。それだけで、なかなかの反発があり、きっちり書いてこられたにもかかわらず、行ってみたら全然違った。結果的に業者は物を見ないとわからないということになってしまい、とても長い紙の表ができあがった。こちらは大変で受ける方も大変で、学校も一個ずつ全て出すゴミを書くということは勘弁してくれと言われている。今は仕方がないのでトラック2トンで何台分くらいになるかなということに把握しようと思ったがそれもなかなか進まず、1校ずつ業者に見てもらって運んでもらう。幸いながら今年から単価契約しているので、何キロになっても単価が上がってこないの、業者にお任せして把握はしやすいと考えている。そういう意味では少し前進している。それをまた前のシステムのように一つずつ書いてもらうことはできない状態になっている。学校にとってもできるだけ事務量は今と変わらないような状態ということで行っている。それだけでなく学校はかなり業務が増えているので、負担を考えるとそこまでできない。大変な思いをさせるなら、現場の負担を考えるとある程度他の予算を削ってでもゴミに回してあげたいと思う。</p>
コーディネーター	<p>結局、市で台帳を通じて備品とか数と言うのをきちんと管理するというのは難しいということ。事務量においても難しい。各学校で減らしていく、管理するなら各々のやり方で管理するということが今では考えにくいということ。その中でも市として、きっちり1つ1つ管理はできなくても、どこまで物の出入りをルール化するか仕組化するかが必要になる。</p>
メンバー	<p>学校の事は学校だけでというのが相当困難なので、教育という点からは少し離れるが、コミュニティに校長が顧問とか何らかの形で関与されている。コミュニティのメンバーを活用するようなかたちで、地域を活用されるのも方法と思う。全くつながりのない所でやってくれと言われても困るだろうがコミュニティを通じて、単に人手が有って何人かいてできるような事であれば協力いただけるのではないかと思う。</p>
市職員	<p>コミュニティの人が入り、学校の各種ボランティアに協力頂いているところもある。実際に庶務的な物を今まで経験されていた人もいる。ただ学校ごとに地域との関わりも結構あるので、一斉にいけるかどうかということもちょっとというのもある。ただ、そういう声も参考にさせて頂く。</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>それぞれの学校でやり方を考える機会であるとか情報交換の場であるとか、そういうものはあるか。</p>
市職員	<p>学校から地域に出て行っているということ。学校の評議員会に地域の人が入っている。あと、ボランティアとの交流の場も想定されるかと思う。</p>
コーディネーター	<p>それぞれの学校にやり方を基本的に任せるという事であれば学校によって温度差・認識・力量の差もあると思う。そこをできるだけ底上げするとか高めていく必要がある。市からなかなか指示ができないということであれば学校間の情報交換することによって、これならできるとか、そういうことを学ぶ機会であるとか校長、教頭、現場の先生達がゴミを減らすことについての研修とか何か動機づけの部分に働きかけができないのかと思う。そういう機会はあるか。</p>
市職員	<p>校長は校長会、教頭は教頭会ということで意思疎通であるとか色々研究されている。地域との関わり交流ということで情報共有できている。</p>
コーディネーター	<p>それがどこまでこの問題について実行的にやっていることかだと思うが。</p>
メンバー	<p>ゴミ処理代ということで各学校の予算はないのか。出し放題という感じなのか。</p>
市職員	<p>他の予算は学校ごとに生徒数や規模で配分するが、ゴミについては市で一括管理している。入札しているため学校ごとではなく全部まとめたほうが安くなるため、全て予算を管理している。ひとつそういう提案があってもいいと思っていた。ある程度1キロ100円とわかっているから学校に1キロ100円だからと規模に応じて配分する。だから、計画的にゴミを出しなさい。これも一つの方法と思っている。それをすると子どもも関わりなく、本当に管理的にできると思っている。「そんな子どもとか先生とか大変なので管理部門は管理で」ということになれば最終的にはその方法と思っている。ただ、そうなるとやはり積み残しがどんどん後へ残されていき、荷崩れを起こして子どもが怪我したとなれば困った話なので、しっかり管理してもらえそうな体制を作ってから話と思っている。</p> <p>先程から子ども達にゲーム感覚でゴミを減らしていくというような取組みができればという理想を持っている。例えば、机でもそのまま出せばゴミだが、足の部分と天板の木の部分を分けたら資源ごみになる。これを売れるということになったら、ゴミとして出してしまうとノート何冊分買えなくなってしまう。そのぶん分けて出したら逆に、紙何枚分その学校にあげることができるというような仕組みになったらけっこう面白いと思っている。</p> <p>直接的にお金と言うのではなく紙は何枚分とか、ちり紙交換みたいになってしまうが、そういうことで、そのまま捨ててしまうと、鉛筆を買いたいけど我慢しないといけなくなるとか、逆にこれを分けたら鉛筆何本分余計にもらえるという感じでできればいいが、変な競争を煽るのもよろしくないのかなというところで、そこらへんも考えられるところではある。以前、光熱水費でしたことがあり、電気をできるだけ節約しようとなってくると、無理をして電気を消して危なかったりすることがあった。</p> <p>そういったことで変な競争をあおってしまって、あまりいい結果にならなかったという経験がある。実際にゴミを処理すればこれだけお金がかかる、それを売れば還ってくるのであれば、そのまま学校に還元できるという仕組みを作ることができれば、モチベーションが上がってくるのかと思う。</p> <p>そういった環境を醸成したうえで最終的にだいたいこれくらいの予算と配分させてもらい、ゴミに対する意識が浸透してきたら予算配分というやり方も必要だと思っている。いきなりは難しいので今の段階でも、理解してもらえないかもしれない。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>話を聞いて思ったのは論点を2つに分けないといけない。あたかもゴミがたくさん出るのが悪いかのようなふうに使われてしまうと間違った方向の対処をされてしまう。一つ目はゴミの量を管理する。予算と実績の誤差をなるべく少なくするという意識を持っていただくということ。別のテーマとして全体のゴミの量を減らしてゴミ処分に係る費用を減らしていくというものを別の議論として分けて行かないと、隠したり次の年にまわってしまったというようになってしまうと思う。</p>
コーディネーター	<p>買うものを管理するということと減らすということを切り分けるということ。子ども達の学習としてというところは、ある程度イメージを持たたような気はする。学校の中での管理・現場で物を減らしていくための具体的な方策がなかなか難しい。</p>
メンバー	<p>それを生徒達と一緒に考えて、困っていることをそのまま投げると結構いいアイデアが出てきそうな気はする。</p>
コーディネーター	<p>それはもう生徒たちの学習と先生たちの意識を高める事を合わせて行う。もしかしたら、そういう部分から意識の浸透が始まるのかもしれない。</p>
オブザーバー	<p>議論を聞いていると、持ち込まれた後のゴミをどうしていくかということかと思っ ている。一つの考え方として学校にゴミを持ち込まないという考え方はないのか。まず、おそらく市もゴミ減量を市民にお願いしているのは、そもそもゴミを出さないようにするためにはどうしたらいいか。それは購入の段階から工夫するとか先ほどあったように仮にそれがゴミになった時には処理代がかかるというコスト意識を持っていただくということも必要だと思う。</p> <p>それを学校に当てはめていくと、そもそもゴミは学校の中でどのような経路で誰が一体持ち込んでくるのか。当然、教職員が備品なり消耗品を買うということや、児童、生徒が家庭からペットボトルなり、ゴミを持ち込んでくることもあるかもしれない。そうなった時におそらく排出者責任ではないが、もし家庭から持ち込んでいるのであればそれは家庭に持ち帰ってもらうとか、さきほど提案があったように購入の段階で処理を含めたコストを予算として確保しておくというような考え方も必要と思う。</p> <p>おそらく子ども達にゴミ学習として考えてもらうときには当然ゴミが増えてしまったときにどういう処理をしていくか、例えばリサイクルとかリユースとかあるけど、そもそもゴミを増やさない、出さないためにはどうすることが必要かということも大事になる。</p>
コーディネーター	<p>物の流れ、コスト意識、環境への影響も含めて学校に物を入れるときから処分まで考えたうえで購入するということが必要になる。そういうカルチャーというか意識の流れの仕組みができたらいいいかと思う。ということは市としてどう取り組むかというのは、私もイメージがなかなかつかみきれていないが、こういう教育プログラムとか先生も交えた研修プログラムと一緒に考えていきたいと思いますということがひとつできる。それぞれの学校でコスト意識をさせる仕組みであるとか物の管理、備品の管理もできるだけ少ない労力でやっていくような気付きの為にはどういう取り組みが市としてできるのか。</p>
市職員	<p>市としての取り組みなら、ある程度、机椅子であるとか各校の共通備品というのはリサイクルしやすいものにするコストは高くなると思う。割高になるので今までの考え方と発想の転換が必要だと思う。今まではできるだけ安く仕入れようということで競争させていたが、そこの辺りは最終的にはゴミになってしまうので、できるだけリサイクルできるような備品を積極的に入れていく。今既に行っているが買替の際には必ず引き取ってもらい、引取りをつけてもらうほうが最終的なゴミ処理のことまで考えると安上がりになる。そのようなところで管理部門としてできることも確かにあり、努力する部分とゴミを減らす部分は学校で取り組んでいかなくてはと思う。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>ゴミを持ち込まないというところの部分に関しては、ペットボトルにカバーをつけて水筒替わりに持っている子がいるが、ダメになっているのか。水筒でないといけなとか、それも学校によりけりか。</p>
市職員	<p>地区によるかもしれないが水筒と思う。</p>
メンバー	<p>飲み物は水筒に入れていくが多いと思う。そこを先生達がやるということがひとつ。先生達がペットボトルを持ってきて、持ち帰れば良いと言ってしまえばそこまでだが、子ども達に水筒に入れて来なさいというのであれば先生達もステンレスボトルとかたくさんあるので、そういった取り組みというか共通認識としていくというのもひとつ。</p>
コーディネーター	<p>学校ぐるみで、先生と生徒と一緒にということ。さっきの節約競争にはしないけれどもこういう環境にすることで学校にとってもメリットがある。私のイメージだが、コンテストみたいなこと。学校毎にどんな取り組みをしているかとか、小さなことでクラス単位でしていることでもいいので、情報交換でお互い知ることがいいのかと思う。競争意識は難しい面があるということなので、いい取り組みを応援し合うみたいなことがあればと思う。</p>
メンバー	<p>環境コンテストとか面白いのではないかと思う。神戸では科学館で毎年、市の小学生たちが作った発明品を展示している。大人顔負けのアイデアを出してくる子ども達がたくさんいる。環境に関してももしかしたら自分たちが出しているゴミに対して自分たちで考えてみるということはいいい勉強だと思う。質問ですが、持ち込まれるゴミというのは先ほどペットボトルの話題が出ていたが、傘とか他にもよく持ち込まれるものはあるか。</p>
市職員	<p>本当にこんなもの学校にあるのというものが出てくる。私達もいつも頭をひねるのがタイヤになる。同時に20個、30個出てくることがある。前の先生が運動場に埋めてタイヤ飛びのために置いていたが、やる時間がなくてそのままになっている。理由があるみたいだが、見た事ないくらい大きなタイヤが転がっていたりする。タイヤは産業廃棄物なので別ルートでしか処理できないので年1回処分しているが、これが最後と言っているにも関わらず何個か毎年出てくる。そういったところも先生ひとりひとりに認識してもらわないと困る。</p>
メンバー	<p>イメージからするといらぬもので何かをしようとして持ってこられたものが、ゴミになっているということか。</p>
市職員	<p>よかれと思いついてきて結局放置され、先生が異動したときにそのままになり、誰の持ち物が分からなくなったものがある。空き教室がある学校は、そこに置いてある。</p>
メンバー	<p>そういったものを管理する事は、なかなか難しいかもしれないが、やはり意識的に持ち込まないということが一番有効だと思う。</p>
市職員	<p>子ども達の教育の前に教職員がしっかりゴミの意識をまず持っていただき、子ども達に指導していかないといけない。校長会や教頭会に私達も行ってお願いするが、そこから下へなかなか伝わっていないという状況だと認識している。それをこういったシステムができて仕組みづくりができて環境教育というところで子どもも地域も家庭も取り込んで学校のゴミをできるだけ少なくしていこうという方向へ持って行けたら自ずと教師にも浸透していくと思っている。そこが一番の狙いである。</p>
オブザーバー	<p>提案だが、持ち込んだ人が名前を書いておくとか。子どもには自分の持ち物に名前を書くように言うが、残っている傘はおそらく名前が書いていないから誰のかわからないことだと思う。</p>
コーディネーター	<p>学校という場がよくわからないゴミ捨て場みたいなふうに思われてしまうとよくない。使う人の責任、持ち込んだ人の責任ということをもう少し認識してもらいたいとこ</p>

発言者	発言内容等
	<p>る。確かに地域という話もあったが、学校でいくら意識を高めても家でゴミ出し放題とか地域が全然意識がないということだと、理不尽ということになる。それも先ほどの自治会、コミュニティの話になるが、学校を支援する地域の体制というのは、どこの学校にもあるのか。</p>
市職員	<p>基本的に学校にはある。</p>
コーディネーター	<p>年に1回でもいいから学校でのゴミを減らすための取り組みとか現状を報告する場を設けるといいかもしれない。</p>
メンバー	<p>今は持ち込まれたゴミで話があったが、たとえば毎日出るような給食の残飯とかはそんなに問題視されていないという解釈でいいのか。</p>
市職員	<p>給食については、学務課で産業廃棄物として契約している。</p>
コーディネーター	<p>そこは問題にあがっていないのか。</p>
市職員	<p>生徒数で分かるので持ち込んでいる云々がない。量も読めるということで大きな問題にはなっていない。</p>
コーディネーター	<p>教育という意味では食べ物を残さないということを含めての教育と思う。</p>
メンバー	<p>ゴミはあまりイメージが沸かないが要するに1回使って二度と使わない物もあれば、何回も使う物、教師が買われてその教師は使わないが、物自体はゴミではなくて再度使用できるという物もあると思う。そういうものをまとめてゴミというのではなくて再利用できるもしくは修理すれば可能な物を学校で年1回~2回に市民に開放して欲しい人は持って行ってくださいという事はできないか。</p>
市職員	<p>もちろんそのために手間が必要かもしれないが、コミュニティの人に上手く手伝ってもらい、外へ出すのではなく持ち帰り使ってくださいとはできないのか。ひと手間加えることでゴミが商品になり得るのではないか。</p>
メンバー	<p>これに関しては勉強会でも指摘いただいた。学校にとっても地域にとってもメリットがあるので、参考にさせて頂きたいと考えている。</p>
市職員	<p>バザーを単体でやろうと思うと学校側からの告知をする等と色々大変かと思うが、地域で行われている夏祭りにかぶせてできないか。学校が休みに入る前に先生が荷物の整理をしないといけないが、地域の人が集まってくる日にはなる。ひとつテントでも開けて、学校で不要なものなのでお持ち帰りくださいとやってみるのもいい。バザーだけだと、それだけのためにどれだけ人が来るのかということもある。やってみたものの人が来なかったではやった意味がない。既に人がいるところに絡めてやっていくのも一つではないかと思う。</p>
市職員	<p>まさしくその通りで、それだけのために出てくる人もなかなかいない。イベントに絡めて、地域の人が集まりやすい時にやりたい。地域の力を借りながらしていきたい。</p>
メンバー	<p>国崎クリーンセンターで時々やっているが、カエルマークのかえっこバザールをしている。私が見たのは家で使用しない物やもう使わなくなったおもちゃを出している。子ども達の場合はリサイクルに関するワークショップを受け、自分は使わなくなったけど捨てるのはもったいないというものとそこにあるものを交換する。どこが主催しているか分からないが、市役所の1階でもお店をしていたことがある。学校の物はかなり需要があると思う。</p>
メンバー	<p>西宮市のゴミ焼却場は、入口のそばに常設の不用品コーナーがある。それは市がゴミとして収集したものに職員が手を加え再利用が可能な形にして展示し、必要な方は持ち帰りくださいということだった。学校で常設するのは、無理なので先ほどのようなかたちで提案した。どこの学校もそうだと思うが、コミュニティで行事をするときは学校を提供されるので、行事にあわせてやる。そうでなければバザーでテントでというと、売</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>れ残った物を持って帰るという手間になり、学校へ来てもらう際、一緒に見て下さいというほうが現実的と思う。</p> <p>大学でやっているシステムだが、図書館の本はかなり雑誌も取り入れている。いらなくなったものを年にリサイクル図書ということで、川西の図書館でもやっているが、期間を決めて置いておくということであれば持って帰る人は増えるのではないかと思う。</p>
コーディネーター	<p>そういうことを行う中でこんなにゴミ出ているとか、こんなのがあるのかと地域にも知ってもらえるし、生徒も先生も認識する機会になるのかもしれない。</p>
メンバー	<p>予算の縛りの中で、こういう方法もあるとかツールとかを管理側から提案して、あるいは学校の方から提案していただいて、整理し還元していくのは、どうなのかという意見がでると思う。</p>
市職員	<p>言われるとおりお金の流れがポイントになる。バザーで学校の消耗品や備品を処分するとお金が入り、それを学校に入れる事はできない。お金は役所では年度単位になるので、翌年度にまわすのかとかそもそもどういう形になるのかという話になるので、そこらあたりの動機づけにかかる部分の制度設計が難しい。</p>
メンバー	<p>管理側が非常に優しいのではと思う。全てやってあげているというか。お金の面で苦勞をかけてないあまりに、意識がなくなってきたような印象がある。私もゴミを道にガムを捨てるのは信じられないが、誰かが掃除している。その苦勞が分からないから、そういう事をしてしまうのかと思う。長くなるかもしれないが意識を共有していくことが重要になる。</p>
コーディネーター	<p>これをやれば必ず意識が高まるとかいうことではなく、いろんな道を作りながらいろんな機会意識を高めてもらう時間のかかることかもしれない。</p> <p>ただ、学校はどうしても閉じてしまう。あの部屋に入れとけばいいみたいな事になると意識も生まれないと思うので、学校で起きていることを外に発信していくとか、何か風通しをよくすることが必要な気がする。地域に開くというバザーという事もそうだし、学校の中で家庭での生活とも繋がるような感じで学校のゴミだけでなく物とどう付き合うかみたいな事をゲーム感覚で学ぶとか、節約競争みたいなことも。教学校間の情報交流みたいなこともやっていかないといけない。各学校に任せてしまっ、あとは手が出せないみたいなことになってしまうと、全体として状況が良くなっていかない。</p>
オブザーバー	<p>具体的にどんなものが出ているかというのは分かるのか。リサイクルのバザーの話も出たし、タイヤの話も出て、他にどんな種類のゴミが多いのか。</p>
市職員	<p>いろんな物があり家庭から出すゴミと同じになる。分類ができればこちらも把握できるが、分類できない物が出てきている。先程の意見に水を差すようかどうかと思ったが、本当に使えない物をゴミとして出している。そんなに無駄な事はさせていない。使えるものであればバザーに出せるが、破損している、割れている、修繕不可というものが最終的に出てきている。そのような物がかなりの量ある。家庭で応接セットがいらなくなり、校長室の物がボロボロになっているから貰っている。思い出したが、ペンキがある。色んな修繕工事で使ったペンキを使うかもしれないから置いている。まだ、液体と分けられる時は、可燃物と缶で分けて処分できるが、しばらく置いていると固まってしまう。そうなる前に処分するように指導しているが 30 個 40 個もあるのでそんなことできない。それも最初にゴミとして入ってきたわけではない。また、業者から 1 年間はメンテナンスのためにその色を使わないといけなから置いといてくれと言われる事がある。それは業者に持って帰ってもらうべきゴミだったはずなのにその頃はそういう認識ではなく、置いていたペンキが 30、40 と学校にある。それが処分に困るゴミになっている。それ以外に一般家庭から出てくるゴミになる。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>ゴミというといろんなイメージがあるが使えない物とか廃棄するしかない物ということで考えて行かないといけないということか。</p>
コーディネーター	<p>使えるものがあればいいが、問題はやはり使えなくなってどうしようもない物が溜まっている。学校側もストップをかけるというか、もう持ち込ませないというか、そういう意識が必要になる。</p>
メンバー	<p>最後になってしまったが。次回どの辺を更に深めて具体化していくかというところ、次回までに私のほうでも整理したいと思うが、言い足りなかったこととかあれば。</p>
メンバー	<p>ゴミの場合は正直普段でも全く触れることがなくてなかなか難しいと思いながら皆さんの意見をかみ砕くことに時間を要してしまったので、今回はもう少しいろいろデータを見ながら勉強して臨みたいと思う。リサイクルというふうにもどうしても考えていたが、どうしても使えないようなものはゴミとしてしか認識できないと思うので、コミュニティとの連携を重視した方がいいのではないかな、と話を聞いて思った。</p>
コーディネーター	<p>具体的にコミュニティとの連携というのは。</p>
メンバー	<p>受け入れてもらえるところは、受け入れてもらう。コミュニティ側からゴミの仕分け人といったらあれだが、学校で管理ができないなら外部から監督みたいなのがボランティアのようなかたちであればいいのではないだろうか。</p>
コーディネーター	<p>話を聞いていると、学校が問題というか。それぞれの家庭とか地域ひとりひとりの生活の中で出てくるゴミが集まってしまっている。ひとりひとりの住民の物に対する意識が反映されて、悪い所が出ているような面もあるのではないかと思う。</p> <p>学校の物に対する管理の問題もあると思うが、何か子ども達を通して物に対する意識に働きかけていけるような取組みがあるといいのではないかと思う。時間も来ているので、もし質問することがあれば、次回までの間にメールでも結構なので事務局に伝えてもらえればと思う。</p>